

●2014年度 委員会方針

事業室 地域創造委員会

委員長／今井 一人 副委員長／佐藤 将道 委員会幹事／池野 裕二郎
委員／朝倉 友和 海藤 俊 嘉堂 聖也 近藤 大己 酒井 美智子 坂口 英人
田崎 隆将 豊田 康宏

1. 基本方針

函館は近年、観光客の減少や雇用の問題を抱え、人口も昭和59年の32万人をピークに毎年約2千人が減少しており、地域全体の活力は低下しています。大都市では景気回復の兆しが見え始めてきていますが、その一方で、函館の経済はまだまだ景気回復を感じる状況には無く閉塞感が漂っております。今こそ函館の地域資源を最大限に活用し、地域の魅力を輝かせ、函館の潜在的価値の顕在化によって活気に満ち溢れた函館を創造することが必要です。

まずは、地元の特産品である食資源をはじめ、歴史的な名所・旧跡や風景など地域の基幹産業である観光資源にスポットをあて、我々が認識し深く見つめ直して伝える事で、地域住民が改めて街の魅力に気付き関心を持てるように意識喚起をしていきます。

次に、現存する地域の魅力ある食資源について、有効な活用方法の情報を収集・検証し、継続的に発信していくことで、地域の魅力として最大限に引き出し美食の街となる可能性を考えていきます。また文化・伝統芸能なども地域の魅力であり、函館青年会議所メンバーが主体となって新たな観光資源として着目し、地域住民に楽しんで頂きながら主体者意識を醸成する事業を実施していきます。

函館青年会議所として地域の魅力を継続して発信し、地域住民が主体者意識を持った地域の魅力の発信者となれば、函館市民にとって「自信と誇りをもてる街」へ、他地域の人は「行ってみたい街」「住みたい街」に意識が醸成されます。そして函館に観光客を呼び込む事で、観光産業は基より関連する産業なども経済効果を発生させていき、産業全体の活性化が地域に人を取り戻すことができる好循環を生んでいきます。函館の経済へ波及効果をもたらしていく為にも、メンバーが発信者の先駆けとなり活気に満ち溢れる賑わいのある街へと繋げて参ります。

2. 事業計画

1. 3月例会の企画・実施
2. JCデー 道南フェスティバル 企画・実施
3. 新入会員の拡大
4. 各委員会及び出向者への協力
5. 各種大会・会議への参加

3. 年間事業フレーム

2014年度 一般社団法人 函館青年会議所 地域創造委員会 年間事業フレーム

1. 3月例会の企画・実施
2. JCデー 道南フェスティバル 企画・実施
3. 新入会員の拡大
4. 各委員会及び出向者への協力
5. 各種大会・会議への参加

事業別作業スケジュール

事業名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3月例会	上程 作業等				協議	審議	実施	報告								
JCデー	上程 作業等						討議	協議	協議	審議		実施			報告	
新入会員の拡大	上程 作業等	実施			実施											
各委員会及び出向者への協力	上程 作業等	実施			実施											
各種大会・会議への参加	上程 作業等	実施			実施											